

人権・福祉について学ぶ

校長 岩澤 尚彦

暑い日があったり、急に寒くなったり秋をじっくり楽しみたいと思っても難しい季節の変わり目を迎えています。

さて、今年も人権週間(12月4日～12月10日)に向けての人権福祉教室の取組が各学年で行われています。学校関係諸機関の皆様にご授業をいただき、子どもたちの理解を深め、自らの行動につなげていくようにしています。各学年の取組を写真にて紹介させていただきます。



一年 手話にちようせん
(あいさつ、歌など)



二年 聴覚障害の方の話



三年 視覚障害の方の講話と、
盲導犬と共に誘導体験



四年 アイマスクをして
弱視の方に寄り添う体験



五年 車いすアスリート
の方の講話
【十二月実施予定】



六年 認知症サポーター
養成講座

あらためて長年に渡り、本校の人権福祉教育に携わっていただいている関係諸機関の皆様には心より感謝申し上げます。

誰もが安心して生活できる社会にしていくには、一人一人の理解や行動が重要です。本校のカリキュラムに位置づけ、毎年、各学年で行っている人権福祉教室。6年間の教育の中で、意識をもち行動につなげていくことができる社会の担い手としてじっくり育てていきたいと思っております。

なお、児童の感想や写真をまとめたポスターは、職員室前廊下に掲示してあります。来校した際には、ご覧いただければ幸いです。